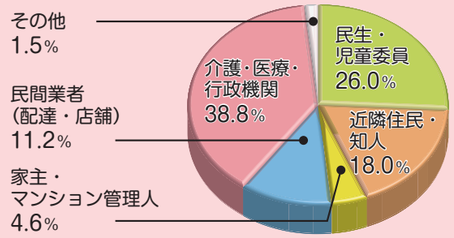
令和元年度の取組み

通報相談件数

高齢者などの見守りや安否確認について、親族以外から各地域包括支援センターに寄せられた通報や相談は、年間で４１２件でした。地域のみなさんのちょっとした気づきが、大きな助けとなっています。



見守りサポーター養成講座の開催

地域で緩やかに見守る「見守りサポーター」の養成を目的に、講座を２回開催しました。第１回はＮＰＯ法人Ｄカフェまちづくりネットワーク代表の竹内弘道氏を、第２回は株式会社エンパブリック代表取締役の広石拓司氏を講師にお招きし、合計６５名の参加がありました。

第56回目黒区商工まつりでのPR

目黒区見守りネットワークキャラクター「まもりん」のフォトフレームを使った写真撮影を実施し、約４０名の方にご参加いただきました。

また、併せて見守り事業や地域包括支援センターの紹介を行いました。

協力機関連携会議の開催

見守りネットワークの現状を把握するとともに、熱中症の予防や区内でも大きな被害が出ている特殊詐欺、防災・救急医療情報キットの活用などについて、それぞれの協力機関の職員と情報交換を行い、連携を深めました。

目黒区見守りネットワーク連絡会の開催

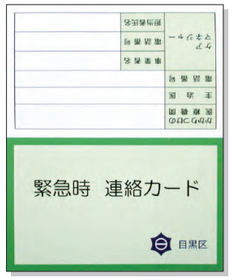
見守りめぐねっとの協力団体・協力機関・協力事業所や地域包括支援センターおよび区関係部署などが出席して、見守り事業に関する１年間の取組み状況の報告・今年度の取組みについて意見交換をしました。

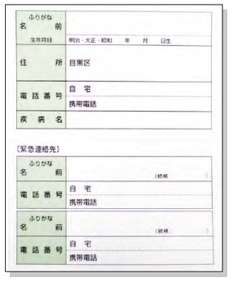
緊急時連絡カード、備えていますか？

外出時の緊急事態に備えて、身元確認につながる情報（氏名、緊急連絡先、担当ケアマネジャーなど）を任意に記入できる携帯用連絡カードを配布しております。

ご希望の方は、直接窓口にお越し下さい。

配布場所：地域包括支援センター、高齢福祉課





新型コロナウイルス感染症にお気をつけください

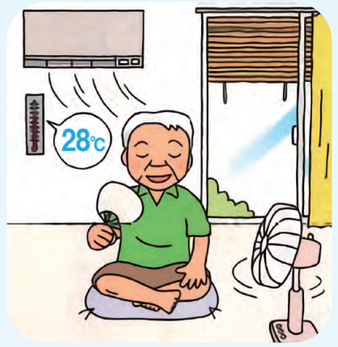
【編集】目黒区健康福祉部福祉総合課　　TEL：5722-9385　　FAX：5722-9062

見守りめぐねっと
ねっとわーく通信
発行：目黒区
第21号
令和2年度夏号
（年2回発行）

熱中症を予防しよう!!!

熱中症は、高温多湿な環境に長くいることで、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能が低下することで引き起こされます。
日頃から新型コロナウイルス感染症予防に努めると共に、熱中症予防を適切に行いましょう。

室温は28℃をこえないように！



エアコンや扇風機を使い、室温は28℃以下にしましょう。

◆直射日光を防ごう

すだれやカーテンを利用し、直射日光を遮ましょう。

★注意★

感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整しましょう。

こまめな水分補給を欠かさずに！

◆時間を決めて水分補給

食後、外出前後、就寝前、起床時などに水分補給を！
就寝中も近くに水分を準備しましょう。

★高齢者は特に注意★

加齢により、暑さや水分不足に対する感覚機能が低下します。周囲のかたの見守りや声かけが大切です。

暑さを避けよう！

◆日陰・休憩

日陰や照り返しの少ない場所を歩き、涼しい場所で小まめな休憩を取りましょう。

◆衣服

吸湿･通気性のよいものを選びましょう。

◆帽子・うちわ

帽子や日傘を使い、直射日光を防ぎましょう。
時々、帽子を脱ぐなどして風を通しましょう。

★適宜マスクを外しましょう★

- 気温・湿度の高い中でのマスク着用は要注意
- 屋外で人と十分な距離（２メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずす
- マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクを外して休憩を